



Q-Yacht Times November 2020

九州インカレ報告

個人戦

10月2日

福岡市ヨットハーバーにて、九州学生ヨット選手権大会個人戦が行われました。本大会は12knotほどの風の中、3レースを消化しました。今大会では、上位6位のペアが蒲郡で行われます全日本学生ヨット選手権大会(個人戦)に出場します。九州大学ヨット部からは国際470級2艇、国際スナイブ級4艇が全国への切符を手に入れました。出場選手は以下の通りです。

〈国際470級〉

芝洋斗(4年)/矢吹創(3年) 5位で通過

高橋英悟(4年)/神川光(4年) 4位で通過

※全日本選手権大会へは高橋英悟(4年)/上野大一(2年)のペアで出場します。

〈国際スナイブ級〉

足立拓馬(3年)/平松健吾(4年) 3位で通過

入江透(4年)/酒井信之介(3年) 2位で通過

位田雅治(4年)/佐田寛朗(3年) 5位で通過

奥田祐大(2年)/1R目下川隆治(2年)/2,3R目成瀬諒花(3年) 6位で通過

※全日本学生ヨット選手権大会(個人戦)へは足立拓馬(3年)/下川隆治(2年)、奥田祐大(2年)/成瀬諒花(3年)のペアで出場します。他のペアに変更はありません。



4年生からお揃いのロンTが贈られました!

YACHT CLUB
KYUSHU UNIVERSITY

←今年もマネージャーからミサンガをプレゼントしました! 写真は3年生のものです!

団体戦

10月3日、4日

九州学生ヨット選手権大会団体戦が行われました。1日目は5~8knotほどの風の中、両クラスともに3レースを消化しました。国際470級が

団体成績44点で2位の福岡大学に11点差をつけ、国際スナイブ級は団体成績44点で2位と、1位の福岡大学を追いかける形で1日目終了しました。1日目の総合成績は93点で暫定1位となりました。2日目はあまり風がなく、1レースを消化しました。今大会の最終成績は以下の通りです。

〈国際470級団体成績〉

1位 九州大学 63点

2位 福岡大学 79点(+16点)

3位 日本経済大学 85点(+22点)

4位 鹿屋体育大学 89点(+26点)

〈国際スナイブ級団体成績〉

1位 福岡大学 66点(-2点)

2位 鹿屋体育大学 68点

3位 九州大学 68点

4位 西南学院大学 139点(+71点)

〈総合成績〉

1位 九州大学 131点

2位 福岡大学 145点(+14点)

3位 鹿屋体育大学 157点(+26点)

※()内は九州大学との得点差を示しています。



2日間を通し、多くのOBの先輩方にご支援、ご声援をいただきました。誠にありがとうございました。個人戦、団体戦ともに交代後初めての大会であり部員全員が緊張感を持って望んだレースとなりました。レギュラー、サポートに関わらず、今自分がやるべきことを全うすることに努めました。今大会で得た反省を生かし、自信を持って全日本インカレに臨んでまいります。

ご声援の程よろしくお願致します。(川野)

※写真撮影の時のみマスクを外しています。



九州 470・スナイプ報告



10月17日(土)～18日(日)にかけて、福岡市立ヨットハーバーにて020年度九州470級ヨット選手権大会/2020年度九州スナイプ級ヨット選手権大会が行われました。九州大学から

は国際470級において6艇、国際スナイプ級において5艇出場致しました。1日目は、5～7knotの風の中で3レースを消化しました。国際470級では、2レース目に森ゆり奈(3年)/石原大輝(4年)ペア、芝洋斗(4年)/矢吹創(3年)がそれぞれ1位、2位をとり、海上を沸かせました。高橋英悟(4年)/神川光(4年)ペア



アもすべてのレースで安定感を見せてくれました。国際スナイプ級も、足立拓馬(3年)/平松健吾(4年)ペアが1レース目で2位をとり、入江透(4年)/酒井信之介(3年)

ペア、位田雅治(4年)/佐田寛朗(3年)ペアもすべてのレースでシングルをとるなどの活躍を見せてくれました。2日目は、9～11knotの強風コンディションの中で3レース行われました。最終結果は、芝洋斗(4年)/矢吹創(3年)ペアが2位、位田雅治(4年)/佐田



寛朗(3年)ペアが1位、足立拓馬(3年)/平松健吾(4年)ペアが7位となり、積み重ねてきた実力を見せてくれました。全日本インカレ前の最後の大会となりましたが、多くの課題や改善点を得ることができました。また、サポート面でも全日本インカレ本番さながらの雰囲気です。迅速な行動をすることができました。(川端)

全日本インカレに向けて

全日本学生ヨット選手権

11月1日(日)～3日(火)
和歌山セーリングセンター



<国際470級出場選手>

芝洋斗(4年)/矢吹創(3年)
森ゆり奈(3年)/石原大輝(4年)
高橋英悟(4年)/神川光(4年)

乗り換えメンバー：市川緋那(4年)/佐藤拓海(3年)

<国際スナイプ級出場選手>

足立拓馬(3年)/平松健吾(4年)
入江透(4年)/酒井信之介(3年)
位田雅治(4年)/佐田寛朗(3年)



乗り換えメンバー：藏藤彰宏(3年)/伊藤仁(3年)

九州大学ヨット部が一年間の目標にしてきた全日本インカレがついに開幕します。今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全員で小戸に行くことは叶いませんでした。ひとりひとり様々な思いを抱えながら、この大会を迎えることとなります。和歌山と小戸、遠く離れていますが、最後まで全員で一つになって悲願である日本一をつかみ取ってまいります。温かいご声援のほどよろしくお願い致します。

インカレへの意気込み

主将・470クラスリーダー

芝 洋斗

平素よりお世話になっております。

九州大学ヨット部主将の芝洋斗です。



全日本インカレにむけて意気込みを書かせていただきます。

今年度は公式レースがほとんど行われず、自分たちの全国での立ち位置などがわからないままインカレに望むことになり不安な部分もありますが、この一年どの大学よりも努力してきた自信が私たちにはあります。練習ができない時期もありましたが、たくさんの方のサポートのおかげもあり、チームとして可能な限りの成長ができたと思っております。

コロナ禍で様々なスポーツの全国大会が中止となっていく中、インカレが開催されることを本当に幸せに思う一方、全員で行くことができないことが本当に悔しいです。出場するメンバーは現地に行けない部員の想いを背負って全力で戦いたいと思います。

今の九大ヨット部には勢いがあります。自信があります。1年間共に切磋琢磨した最高の仲間がいます。そしてその仲間がひとつになれています。

小戸に残っているメンバーと想いをひとつに戦って悲願の総合優勝を果たします。ご声援よろしくお願い致します。

スナイプクラスリーダー

入江 透

お世話になっております。九州大学

ヨット部4年の入江透です。ついに

インカレがやってきました。今年

は、「ひとつに」というスローガン

を掲げ交代してからインカレ総合



優勝を目指して活動して参りました。そんな中、コロナウイルスの感染拡大の影響により4月から活動自粛の期間が続きました。ですが、その期間も「ひとつに」というスローガンを忘れずトレーニングに励んできました。練習再開後もなかなか順風満帆とはいきませんでしたが部員一丸となってここまでやって

きました。今年のインカレはイレギュラーなことも多いですが、今年1年のチームの集大成として全力で勝利を掴みにいこうと思います。ご声援のほどよろしくお願いたします。

両クラスリーダーともに、「ひとつに」になって総合優勝をとることへの熱い思いを語ってくれました。

マネージャーリーダー

川野 由美子

サポートリーダーの川野由美子です。

九大のサポートは例年40人近くいま

すが今年は現地に行けるのが4分の1以下となっています。まずはこの和歌山組では、環境を言い訳にしないサポートを目指し支援艇や現地での動きを旧来に囚われることなく新しい形でできたらと思います。また、小戸組も負けずと新しい形を模索してサポートを行います。和歌山と小戸で連携を図りながら先輩達を超えられる日本一のサポートを目指して頑張ります！また、こんな時代だからこそ各地にいる応援してくださる方々の存在の力を強く感じます。皆様もサポートメンバーの一員として共に戦いましょう！



小戸サポート



今回の全日本インカレでは、コロナウイルス感染拡大を防ぐためハーバーに入りできる人数が制限されているため、残念ながら部員全員で現地入りして声援を送ることということができません。

しかし、和歌山にいるメンバーと同様に、小戸で待つメンバーも大会にかける思いは熱く、一人ひとりに大事な役割があります。半数近くの部員が小戸で待機することとなりましたが、普段と変わらないサポートだったと言ってもらえるよう備品班、遠征計画班、得点班、広報班の各班最善を尽くしてまいります。また、夜にはZoomをつなげて全体ミーティングをする予定です。全員の顔を見て声を聴いて安心してもらい、肩の力を抜いてレースに向かってもらいたいと考えています。(濱田)

—メンバー紹介—

○備品班：美彩、レナ、日奈子、上野、下川、奥田、山下、王、黒田

…準備が8割と言われるインカレにおいて、備品班の存在は何よりも重要です。そんな彼らはまさに「縁の下の力持ち」と言えるでしょう！今回は現地での備品管理はできませんが、彼女たちが準備してきた備品には熱い思いが込められています。

○遠征計画部：美来、美通

…遠征の裏ボスともいえる遠征計画部は、1年前から遠征場所を確保すべく奮闘し、費用や人数などの条件に合致する宿を見つけ出します。今回は開催地の決定が直前になるなど、イレギュラーな状況でしたが、迅速な対応をしてくれました。どんな時も頼りになる、九大が誇るサポートの1つです。

○得点班：二千夏、里砂、真優子、真莉萌、茉実菜、彩香、久保、西本、稲田
…どの大学よりも迅速かつ正確なレース順位を出す九大得点班は、日本一のチームワークから成っています。この技術は代々受け継がれ、そhして進歩しています。今年は和歌山のサポートメンバーからの速報を頼りに、華麗な協力プレーで日本一のスピードと正確さを発揮してくれることでしょう。トラッキン

グシステムを導入し、上位艇と九大艇のコース分析も行う予定です。

○広報班：彩花、佑里、遥、七海

…広報班は得点班とタッグを組み、迅速で正確な広報活動をすべく戦っています。いつもお世話になっているOBの先輩方をはじめ、保護者の方々、九大ヨット部を応援してくださる全ての方々に情報をお伝えする使命を持っています。全日本インカレでも、「どこにいたってできる」という広報の強みを生かして、まるで現地に応援しに行ったかのような臨場感で情報を発信してまいります。

ついに完成！

九大ヨット部

モチベーションアップPV



毎年恒例、九大ヨット部モチベーションアップPVの2020年版がついに完成しました！2年スナイプの下川を中心に、全日本インカレに向け、部員のモチベーションをさらに高める

べく作成しました。部員1人1人の楽しそうな姿からアツい姿まで盛り込まれています。

↓こちらのリンクからぜひご覧ください！

<https://www.youtube.com/watch?v=e60mZt81jH8>



新歓報告

先月入部を決めてくれた5人の1年生に加え、新たに大西健新（機械航空機械工学科）が九大ヨット部に加わりました！今後の成長を温かく見守っていただければ幸いです。

また、今後の新歓活動予定配下の通りです。

○スポーツクラブガイダンス 10月28日（水）

○部活動見学会 10月15日（木）、19日（月）15:30～
11月8日（日）午後



新歓広報活動も

継続して行っています！

今月もご覧いただきありがとうございました。

来月もぜひご覧ください。

